

六、保立さんの八ミリ映画（土浦の自然を守る会、一年間の活動を伝えるフィルムム。）

七、閉 会

### 会 計 報 告

（四十七年六月～四十八年七月十五日）

◇ 収 入

前年度繰越し金	三五、六三五円
入会会費（三六名）	一八、〇〇〇円
寄 附	五〇、五〇〇円
機関誌売却代（桜川）	一二四、七七七円

桜川一号	四〇〇冊
二号	四八七冊
三号	四六〇冊
四号	三四九冊

四十八年度会費

おとな 四四名

こども 一名

毎日新聞社から原稿料

四、五〇〇円

チラシの作成、青林舎との連絡、会場の借用などについて交渉して頂けることになりました。

一、北筑波綾線林道建設の反対運動を、茨城県自然保護協議会などと協力して推進してゆく。

八月十二日（日）林道ハイキング。奥井登美子さんが責任者となり、大型バスの借入れ、八郷町との交渉、チラシの作成などを決定。

一、「霞ヶ浦はどうなる？」市民と科学者のつどいへの参加を、一般会員へ呼びかける事。七月二十一日（土）

公害の少ない「脂肪酸系の石けん」の販売を一般市民に呼びかけよう、との方針で、由利会員が新しいパンフレットを作成する事を決定。

一、自転車専用レーンの設置を強力に市、県に要請しよう、との意見が、奥井、坂本会員から出され、当面は「桜川」の中でいろいろの人に誌上討論してもらったり、チラシを作成したりして、除々に表現の方向に追いつける事で意見が一致。早速今回の桜川で、この問題を取り上げました。

一、霞ヶ浦汚染の問題に関しては、問題が大きく、かつ、複雑なので、方針が決定せず、後日、改めてこの件に関する討論会を開催する事になりました。